

○南加代子委員長

ただいまから予算常任委員会を開会します。

本委員会に付託されました事件は、御配付しております付託事件のとおりです。

審査の方法は議案番号順に審査することとし、議案第5号については、歳出は款ごとに、歳入は一括、継続費、繰越明許費、債務負担行為、地方債は一括して審査することとしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

それでは、そのように進めさせていただきます。

まず、議案第5号の歳出のうち、人件費及び2款総務費の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○残実総務部長

議案書（その1）の51ページをお願いいたします。議案第5号令和5年度岸和田市一般会計補正予算（第8号）のうち、人件費に係る事項につきまして御説明申し上げます。

令和5年度当初予算におきまして、退職手当については、定年延長に伴い、60歳での定年退職者が発生しない年度でございますが、60歳で自己都合退職される人数を想定し、予算措置をいたしました。今般、退職者数が定まってまいりましたので、増額補正をお願いするものでございます。これに伴いまして、人件費を各款にわたり整理いたしまして、2節給料、3節職員手当等、4節共済費につきまして、おのおの補正を計上してございます。

議案書146ページ、147ページをお願いいたします。退職手当の補正でございますが、2款総務費1項総務管理費1目一般管理費で、147ページ、3節職員手当等のうち退職手当に2億2205万1000円の増額補正を計上

してございます。

160ページ、161ページをお願いいたします。9款1項消防費1目常備消防費で、161ページ、3節職員手当等のうち退職手当に4807万9000円の増額補正を計上してございます。

162ページ、163ページをお願いいたします。10款教育費1項教育総務費2目事務局費で、163ページ、3節職員手当等のうち退職手当に1303万3000円を、同じく4項高等学校費1目高等学校総務費で4649万4000円を、同じく5項1目幼稚園費で560万8000円を、それぞれ増額補正を計上してございます。

一般会計全体で、退職手当に3億3526万5000円の増額補正を計上してございます。

退職手当に係る各款についての説明は以上でございますが、一般会計の人件費、賞与総額につきまして、補正予算給与費明細書により御説明させていただきます。

197ページをお願いいたします。補正予算給与費明細書の上段の表は、総括表でございます。上の段から、補正後、補正前、表の右に行きまして、今回お願いいたしてございます補正予算額を給与費、共済費の区分に応じ、それぞれ計上してございます。補正予算額につきましては、報酬が57万1000円の増額、給料が6360万円の減額、職員手当が3億1087万3000円の増額となっており、補正予算総額は、合計欄に記載してございますとおり2億3003万6000円となるものでございます。

下段の表には、補正計上いたしております職員手当の所要額の内訳を記載してございます。また、198ページ、199ページは、会計年度任用職員以外の職員と会計年度任用職員について、それぞれ区別して記載してございます。なお、200ページには増減額の明細を記載してございます。

次に、退職手当の補正額について御説明申し上げます。

197ページにお戻り願います。下段の表に記載しておりますとおり、一般会計全体の補正額は3億3526万5000円で、当初予算額1億8704万円と合わせますと、予算総額は5億2230万5000円でございます。

なお、一般会計に係る退職者総数は54人でございます。退職事由別では、定年退職者0人、定年前早期応募認定退職者18人、自己都合退職者24人、期限等その他退職者12人でございます。また、市全体の退職者数は85人ございまして、定年退職者1人、定年前早期応募認定退職者24人、自己都合退職者48人、期限等その他退職者12人で、退職手当総額は6億6387万2000円でございます。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

続きまして、魅力創造部に関するものにつきまして御説明申し上げます。

2款総務費1項総務管理費11目文化国際費に2564万8000円の補正計上でございます。これは、147ページ、事業別区分欄、上から2段目、浪切ホール及び旧港地区立体駐車場指定管理事業に、エネルギー価格高騰等を要因とする光熱費の不足分に加え、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用料が大幅に減少しているため、不足する管理運営費の補填をお願いするものでございます。

○寺本義之財務部長

総務費のうち財務部所管分について御説明いたします。

146ページを御覧ください。21目減債基金費に2億2000万円の補正計上で、これは147ページの事業別区分欄、上から3つ目の岸和田市減債基金積立事業でございます。

○谷口英樹市民環境部長

続きまして、市民環境部に係る補正予算

につきまして御説明申し上げます。

同じく146ページ、147ページをお願いいたします。3項1目戸籍住民基本台帳費に429万5000円の補正計上で、右ページ、事業別区分欄、下から2つ目に記載の戸籍事務事業に246万4000円及びその下、住民基本台帳事務事業に183万1000円を計上いたしております。これは、個人の氏名の振り仮名を戸籍及び住民票、戸籍附票に記載事項とする戸籍法及び住民基本台帳法等関係法令の一部改正により、証明書等に振り仮名を表記できるよう戸籍総合システム及び住民記録システム等の整備を進めているところですが、このたび、国から対応が必要となる業務が追加して示され、各システムにおいて新たに改修、整備する必要が生じたことから予算の増額をお願いするものでございます。財源につきましては、全額、国の社会保障・税番号制度システム整備費補助金を活用いたします。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

○京西且哲委員

人件費の内訳、退職者が増加ということでの補正予算なんですけれども、毎年の増減って、こんなのは比較にならないと思うんですが、この補正に上げている部分の中で、例えば一般職、技術職、あとは役職、この辺の内訳を説明できればお願いしたいです。

○吉井俊司人事課長

退職者の内訳ですが、今回、定年延長の関係で定年退職者は出てこないんですが、早期で辞められる方で、すみません、職種ごととかの資料をただいま持ち合わせておりませんが、年代別にはある程度つかんでいるところはございます。今回、早期で辞められるという方で、年代別には60歳の方が、今回、定年延長の関係で選択できると

ということで、延長を希望されずに60歳で辞める方は5名いらっしゃいます。50歳代が16人、40歳代が11人、30歳代が23人、20歳代が17人となっております。私が申し上げた資料は、市全体の数で申し上げております。

○京西且哲委員

一般的に技術職員が不足しているというのは前から聞いているんですけども、内訳が今、一般職か技術職かは分からないということになっているんですが、現状として、技術職、いわゆる専門職の職員の数は、かなり苦勞されて募集はかけているみたいですけども、現状として足ってるのか足りないのかという聞き方しかできないんですが、その辺の状況はいかがですか。

○吉井俊司人事課長

特に技術職で土木職が現状としては不足しておりまして、今年の配置におきましても、土木職に配置したいところに事務職を代わって配置したというケースもございます。ですので、技術職の中で足りない部分というと、特に土木職が足りておりません。

○京西且哲委員

大きな課題だと思っています。それと、定年延長に併せて役職定年も制度として入れられるんですけども、この辺の影響は多少あるのかなと思っているんですが、60歳での退職者が何名いらっしゃったんですけども、役職定年という制度での影響というのはどのようにお考えですか。

○吉井俊司人事課長

今回、60歳で定年延長を希望されない方がいらっしゃいました。具体的な職種でいうと、一般事務、技術職等ではなくて、どちらかというと教員や医療関係というところ辺になっております。ですので、その辺りが退職の人数といたしますか、どういうふうに影響を受けているかというのは、今年

初めての移行ということもありますので、また引き続き情報分析したいとは思っております。

○京西且哲委員

初めて迎える制度なので、それぞれ職員にはそれなりの事情とか個人的ないろんな事情もあると思いますけれども、市の組織として、特に技術関係とか専門職が不足するというようになってくると、業務に大きな影響を与えるし、今までできていた業務ができなくなるということもあると思うので、その辺をしっかりと、いろんな状況を考えながら進めていただきたいと思います。よろしく願いしておきます。

○海老原友子委員

同じように退職者のことで質問させていただきます。今、京西委員もおっしゃったんですけども、61歳までの定年延長ということで、年金との接続、まだまだいろいろ問題はあるかと思うんですが、これまでも自己都合退職者の理由を丁寧に聞いてというようなことをお願いしていたところで、なかなか率直に言えない方もあったかと思うんですけども、聞いたところではそれなりに職場で改善されて、御尽力いただいているところかと思えます。せっかく岸和田市に就職して、やりがいを持って頑張ってくださいっている職員、労働環境とかいろんなところは改善されているかと思うんですけども、できれば定年までしっかり働いていけるようにその辺を整えていただきたいと思います。

大ざっぱな、部署での早期退職者の数、さっき部署は聞いてないですね。大ざっぱでいいので、本庁でとか、病院、学校でとかいうような部署での早期退職者の数を教えていただければと思いますが。

○吉井俊司人事課長

定年前早期応募認定退職、自己都合退職

ということで、60歳を待たずに退職される方は市全体で72人おりますが、その部署ごとの人数につきましては、出先機関を含む本庁関係で30名、保育所関係で3名、学校園で5名、消防本部で4名、市民病院で30名となっております。

○海老原友子委員

保育所で割と今まで退職者が多かったかなと思うんですけども、今回は3人ということでちょっと安心しているところですが、採用の部分でも、去年も保育士が足りないから、定員に満たない保育所が入所児の受入れを終了したりというようなところで、結果、待機児を生んでいるということが起こっています。なるべく退職者が出ない、みんながやっぱり定年まで働ける、先ほどの繰り返しになりますけれども、そういう職場づくりにこれからも、各職場、保育所に限らずですが、御尽力いただきたいと思えます。

○南加代子委員長

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、人件費及び2款総務費の質疑を終結します。

次に、3款民生費の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○北本恵資福祉部長

3款民生費のうち、福祉部に関するものにつきまして御説明申し上げます。

議案書（その1）の148ページ、149ページをお願いいたします。3款民生費1項社会福祉費3目障害者総合支援費に2億9625万円の補正計上でございます。内容につきましては、右ページ、事業別区分欄、上から2つ目、自立支援・介護給付費等事業に2億7600万円の補正計上で、これは、居宅介護などの介護給付、自立訓練などの訓練等給付に係る障害福祉サービスに要する扶

助費で、サービス利用者の増加などにより予算の不足が見込まれるため補正計上するものでございます。

次に、その下、療養介護医療費等支給事業に240万円の補正計上で、これは主に、重度の障害のある方が病院において機能訓練や看護、介護などを受けるもので、対象者の増加等により予算の不足が見込まれることから補正計上するものでございます。

その下、障害者自立支援医療費給付事業に1500万円の補正計上で、これは、腎臓機能障害や心臓機能障害のある方などに対して必要な医療を提供する更生医療、育成医療費で、対象者の増加等により予算の不足が見込まれることから補正計上するものでございます。

その下、障害者システム運用事業に285万円の補正計上で、これは、令和6年度からの障害福祉サービス報酬改定に伴うシステム改修の経費となっております。

なお、自立支援・介護給付費等事業、療養介護医療費等支給事業、障害者自立支援医療費給付事業につきましては、その2分の1に国庫負担金及び4分の1に府負担金が充てられ、障害者システム運用事業につきましては、その2分の1に国庫負担金が充てられるものでございます。

議案書150ページ、151ページをお願いいたします。3項生活保護費2目扶助費に4億2000万円の補正計上でございます。内容につきましては、右ページ、事業別区分欄、生活保護事業で、これは、被保護世帯に給付する扶助費のうち医療扶助が大きく増加しており、予算の不足が見込まれるため補正計上するものでございます。なお、本事業につきましては、その4分の3に国庫負担金が充てられるものでございます。

○大西謙次子ども家庭応援部長

議案書148ページをお願いいたします。2項児

童福祉費 5 目ひとり親家庭医療助成費に 1024 万円の補正計上で、149 ページの事業別区分欄、上から 6 つ目、ひとり親家庭医療助成事業に 1024 万円の計上でございます。これは、ひとり親家庭の児童及び保護者の医療費の一部負担金を助成するのに要する扶助費及び審査支払機関に対する手数料で、昨年 5 月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の 5 類に移行されたことに伴い、感染対策が緩和されたことから、感染症による受診が増加したため、予算の増額をお願いするものです。

次に、148 ページ、6 目児童福祉施設費に 1 億 5 万 3000 円の補正計上で、149 ページの事業別区分欄、下から 4 つ目、民間認定こども園施設整備支援事業に 1 億 5 万 3000 円の計上でございます。これは、民間の教育・保育施設が実施する施設整備に対する補助金で、国の整備交付金単価の増額変更などに対応するため、予算の増額をお願いするものです。

次に、148 ページ、7 目障害児通所支援費に 8400 万円の補正計上で、149 ページの事業別区分欄、下から 3 つ目、障害児通所支援事業に 8400 万円の計上でございます。これは、放課後等デイサービス及び児童発達支援の利用児童の増加等により扶助費の不足が見込まれるため、予算の増額をお願いするものでございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

○田中市子委員

民間認定こども園施設整備支援事業についてお尋ねいたします。これは民間の教育・保育施設が実施する施設整備に対する補助金ということですが、対象となった施設数や整備内容はどのようなものか教えてください。

○山田潤こども園推進課長

まず対象の施設数でございますが、4 施設でございます。その整備内容といたしましては、4 施設のうち 2 施設については施設の増改築、残る 2 つの施設については新築になってございます。

○田中市子委員

補正額の財源内容で、その他に当たる部分は何になるのでしょうか。

○山田潤こども園推進課長

その他でございますが、岸和田市ふるさと応援基金からの繰入れとなっております。

○田中市子委員

子供たちの保育とか教育の充実のために公と民が共に力を合わせてやっていくことが大事なと思います。また、待機児童の解消などもこのことによって改善できるかなと思いますので、引き続き、今回みたいに国の補助事業などがありましたら積極的に活用していただけたらと思います。

○南加代子委員長

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、3 款民生費の質疑を終結します。

次に、4 款衛生費の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○谷口英樹市民環境部長

4 款衛生費の補正予算について御説明申し上げます。

議案書の 152 ページ、153 ページをお願いいたします。3 項清掃費 2 目一般廃棄物処理費に 9128 万 8000 円の減額補正計上で、右ページ、事業別区分欄最下段、岸和田市貝塚市清掃施設組合分担事業でございます。これは、令和 5 年 8 月 8 日開催の令和 5 年第 2 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会において補正予算が議決され、組合側

の歳入、岸和田市及び貝塚市からの分担金が減額されたことに伴い、本市の負担金を減額するものでございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、4款衛生費の質疑を終結します。

次に、7款商工費の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

議案書（その1）、156ページをお願いいたします。7款1項商工費3目観光費に395万4000円の補正計上で、その内訳は、157ページ、事業別区分欄、上から2段目、岸和田城指定管理事業に83万7000円、その下、だんじり会館指定管理事業に248万5000円、その下、二の丸広場観光交流センター指定管理事業に63万2000円で、いずれも電気料金の高騰により指定管理施設運営に係る電気料金に不足が生じた施設につきまして、指定管理者の委託料の増額をお願いするものでございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、7款商工費の質疑を終結します。

次に、8款土木費の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○岸勝志まちづくり推進部長

8款土木費のうち、まちづくり推進部に関するものについて御説明申し上げます。

議案書158ページ、159ページをお願いいたします。8款土木費7項都市計画費1目都市計画総務費に796万1000円の補正計上で、159ページの事業別区分欄、上から4番目の

歴史的景観保全支援事業に139万9000円の計上で、これは、岸和田市歴史的景観保全事業助成金交付要綱の規定により、本町地区におきまして歴史的町並みの修景を行う家屋に対して経費の一部を助成するものでございます。

続きまして、その下、立地適正化計画推進事業に656万2000円の計上で、これは、都市計画マスタープランと交通まちづくりアクションプランを基に、土地利用と交通が一体となってまちづくりを進める岸和田市立地適正化計画の策定に要する経費でございます。これは、国の令和5年度補正予算であります集約都市形成支援事業費補助金を活用するものでございます。

○奥野光好建設部長

引き続きまして、建設部に関わるものについて、私から御説明申し上げます。

8款土木費7項都市計画費4目公園費に89万8000円の補正計上で、159ページ、事業別区分欄、上から6番目、公園指定管理事業に要する費用でございます。これは、昨今の光熱費高騰に伴い、施設の維持管理に支障を来していることから、当該施設の管理運営費の補填をお願いするものです。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、8款土木費の質疑を終結します。

次に、10款教育費の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○藤浪秀樹教育次長兼教育総務部長事務取扱

続きまして、教育総務部に関する教育費について御説明させていただきます。

議案書（その1）、162ページ、163ページをお願いいたします。10款教育費1項教育総務費4目教育基金費に10万円の補正計上で、

右ページの事業別区分欄に記載の教育基金積立事業です。これは、堺市東区にお住まいの匿名希望の方から、天神山小学校の令和6年度の消耗品費などのためにと用途を指定して頂戴した寄附金10万円を教育基金に積み立てようとするものです。

次に、2項小学校費3目学校建設費に5740万円、その少し下になりますが、3項中学校費3目学校建設費に8570万円の補正計上で、それぞれ、右ページ、事業別区分欄に記載の小学校大規模改造事業と中学校大規模改造事業となります。これらは、国の令和5年度補正予算を受け、学校施設環境改善交付金を活用して、老朽化の著しい施設の対策としまして、大芝小学校と山直中学校の外壁改修及び屋上防水工事を実施しようとするものでございます。

次に、少し上に戻っていただきまして、3項中学校費1目学校管理費に460万円の補正計上で、右ページ、事業別区分欄に記載の中学校管理事業です。これは、国の令和5年度補正予算を受けまして、学校施設環境改善交付金を活用して、不審者対策としまして、岸城中学校と桜台中学校に遠隔操作が可能なオートロック設備を導入しようとするものです。なお、他の中学校につきましても、令和6年度当初予算での御審議をお願いする予定としてございます。

次に、4項高等学校費4目教育振興費に727万6000円の補正計上で、右ページ、事業別区分欄に記載の高等学校教材器具購入事業です。これも、国の令和5年度補正予算を受けまして、高等学校DX加速化推進事業補助金を活用し、産業高校に高度な実習設備を整備しようとするものです。

なお、ただいま御説明させていただきました5事業のうち、小学校大規模改造事業、中学校管理事業、中学校大規模改造事業、高等学校教材器具購入事業の4事業につき

ましては、御説明させていただきましたとおり、いずれも国の令和5年度補正予算を受けて補正をお願いするものでございますので、全額を令和6年度に繰り越して執行いたしたく、後ほど財務部長から繰越明許費としても御説明させていただくこととなっております。

○牟田親也生涯学習部長

7項保健体育費6目運動場管理費に93万8000円の補正計上で、右ページ、事業別区分欄一番下、運動広場等指定管理事業でございます。これは、5つの運動広場及び4つのテニスコートを指定管理制度により管理運営しておりますが、光熱水費の高騰に伴い、当該施設の維持管理に支障を来すため、管理運営費の補填をお願いするものでございます。

次に、164ページ、165ページをお願いいたします。7目市民体育館費に1732万4000円の補正計上で、右ページ、事業別区分欄、総合体育館指定管理事業でございます。これにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により利用料が大幅に減少したこと、光熱水費の高騰により当該施設の維持管理に大きな影響を及ぼすことから、管理運営費の補填をお願いするものでございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、10款教育費の質疑を終結します。

次に、13款諸支出金の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○寺本義之財務部長

引き続きまして、166ページをお願いいたします。13款諸支出金2項還付金4目国庫支出金還付金に7384万9000円の補正計上で、

これは、167ページの事業別区分欄に記載の国民年金費国庫委託金償還事業から学力向上支援事業費国庫補助金償還事業までの8件について、令和4年度の国庫支出金を精算しましたところ、受入れ超過となりましたので、超過分を国に返還するものでございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、13款諸支出金の質疑を終結します。

次に、歳入の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○寺本義之財務部長

議案書127ページをお願いいたします。まず、1総括、歳入でございますが、11款地方交付税から22款市債まで、最下段の歳入合計の補正額欄に記載のとおり15億5846万3000円の補正計上でございます。

130ページをお願いいたします。11款1項1目地方交付税に7億7740万6000円の補正計上でございます。これは、131ページ、説明欄に記載の普通交付税5億5734万7000円及び特別交付税2億2005万9000円でございます。

132ページをお願いいたします。15款国庫支出金に6億2929万3000円の補正計上でございます。1項国庫負担金1目民生費国庫負担金に5億370万円の補正計上で、これは、133ページ、説明欄一番上の障害者自立支援医療給付事業費負担金から生活保護費等負担金まで、5件の国庫負担金でございます。

132ページの中ほどやや上、2項国庫補助金に1億2559万3000円の補正計上でございます。1目総務費国庫補助金に429万5000円の補正計上で、これは、133ページ、説明欄、上から6つ目の社会保障・税番号システム

整備費補助金でございます。

132ページの中ほど、2目民生費国庫補助金に7382万2000円の補正計上で、これは133ページ、説明欄、上から7つ目の地域生活支援事業費補助金及びその下の民間認定こども園施設整備支援事業費補助金でございます。

132ページ、下から2つ目、土木費国庫補助金に300万円の補正計上で、これは、133ページ、説明欄、下から5つ目の立地適正化計画推進事業費補助金でございます。

132ページ、一番下、教育費国庫補助金に4447万6000円の補正計上で、これは、133ページ、説明欄、下から4つ目の小学校大規模改造事業費補助金から、最下段の高等学校教材器具購入事業費補助金までの4件でございます。

134ページをお願いします。16款府支出金に9947万円の補正計上でございます。1項府負担金1目民生費府負担金に9435万円の補正計上で、これは、135ページ、説明欄、上4つ、障害者自立支援医療給付事業費負担金、自立支援・介護給付費等事業費負担金、療養介護医療費等支給事業費負担金及び障害児通所支援事業費負担金でございます。

134ページ、中ほどやや上の2項府補助金2目民生費府補助金に512万円の補正計上で、これは、135ページ、説明欄一番下のひとり親家庭医療助成費補助金でございます。

136ページをお願いいたします。18款1項寄附金3目指定寄附金に10万円の補正計上で、これは、137ページ、説明欄に記載の教育総務費々途指定寄附金でございます。

138ページをお願いいたします。19款繰入金1項基金繰入金は4億2094万5000円の減額補正でございます。1目財政調整基金繰入金を4億5000万円の減額補正、2目岸和田市ふるさと応援基金繰入金に2765万6000

円の補正計上、11目岸和田市歴史的町並み保全基金繰入金に139万9000円の補正計上でございます。

140ページをお願いいたします。20款1項1目繰越金に1億243万1000円の補正計上で、これは、141ページ、説明欄に記載の前年度繰越金でございます。

142ページをお願いいたします。21款諸収入3項収益事業収入2目ボートレース事業収入に2億6020万8000円の補正計上でございます。

144ページをお願いします。22款1項市債7目教育債に1億1050万円の補正計上で、これは、145ページ、説明欄に記載の小学校整備事業債及び中学校整備事業債でございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、歳入の質疑を終結します。

次の理事者と交代してください。

(理事者交代)

次に、継続費、繰越明許費、債務負担行為、地方債の審査に入ります。

本件に関し、理事者の説明を求めます。

○寺本義之財務部長

議案書56ページをお願いいたします。第2表継続費補正でございます。変更分として、庁舎建替事業について、記載のとおり変更するものでございます。これは、昨年、プロポーザル参加事業者を公募したところ、提案上限価格の不足から参加辞退の結果となりました。それ以降も建設物価が高騰する状況が続いていることから、事業期間を令和12年度までとし、総額を129億472万6000円とする補正を行うものでございます。

次に、57ページをお願いします。第3表繰越明許費でございます。2款総務費の戸

籍事務事業から10款教育費の高等学校教材器具購入事業までの14の事業につきまして、年度内に事業が終了しない見込みであることから、翌年度に繰り越すものでございます。

続いて、58ページをお願いします。第4表債務負担行為補正、いずれも追加分でございます。下から4つ目のICT支援業務委託については、来年度の事業者選定を今年度中に実施したいため設定するものでございます。そのほかの9件については、昨年の第4回定例市議会において議決いただきました指定管理者の指定に係る委託料について、今年度中に協定書の締結が必要となることから、記載のとおり期間と限度額を設定するものでございます。

続きまして、59ページをお願いいたします。第5表地方債補正、変更分でございます。学校教育施設整備事業について、記載のとおり変更するものでございます。これは、歳入の22款市債の小学校整備事業債及び中学校整備事業債に伴いまして、記載のとおり、補正前の額から補正後の額へ限度額を変更するものでございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、継続費、繰越明許費、債務負担行為、地方債の質疑を終結します。

以上で議案第5号の質疑を終結します。

次に、議案第6号の審査に入ります。

議案の説明を求めます。

○山本隆彦保健部長

議案第6号令和5年度岸和田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)につきまして、私より御説明申し上げます。

議案書の61ページをお願いいたします。第1条歳入歳出予算の補正の定めのとおり、

歳入歳出予算総額にそれぞれ1億4019万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ31億4599万7000円といたしたいものでございます。

まず、歳出から御説明いたします。176ページ、177ページをお願いいたします。2款納付金1項保険料納付金1目後期高齢者医療保険料納付金に1億4019万4000円の補正計上でございます。これは、令和5年度後期高齢者医療保険料納付金が当初見込額を上回ったため、不足分を補正計上するものでございます。

続きまして、歳入について御説明いたします。174ページ、175ページをお願いいたします。1款1項1目後期高齢者医療保険料に1億4019万4000円の補正計上でございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、議案第6号の質疑を終結します。

次に、議案第7号の審査に入ります。

議案の説明を求めます。

○藤原林市民病院事務局長

議案書65ページをお願いいたします。議案第7号令和5年度岸和田市病院事業会計補正予算（第3号）について御説明いたします。

まず、第1条では、補正予算を定める旨を規定してございます。

第2条は、当初予算で定めた収益的支出の補正予定額を定めるもので、第1款病院事業費用第1項医業費用に2億8324万6000円を増額補正いたしたいたためのものでございます。

第3条は、資本的収入及び支出の補正予定額を定めるもので、収入では第1款資本

的収入第6項寄附金に、支出では第1款資本的支出第4項基金積立金にそれぞれ1万円を増額補正いたしたいたためのものでございます。

第4条は、棚卸資産の購入限度額を36億7708万4000円にしようとするものでございます。

それでは、補正予算の内容につきまして御説明いたします。182ページをお願いいたします。収益的支出でございますが、1款病院事業費用1項医業費用1目給与費に8324万6000円、2目材料費に2億円の増額補正をお願いするもので、給与費につきましては令和5年の人事院勧告による給与等の引上げ、材料費につきましては薬品費と診療材料費の増加によるもので、それぞれ当初予算額を上回る見込みとなったためでございます。

続きまして、186ページをお願いいたします。資本的支出でございますが、1款資本的支出4項1目基金積立金に1万円の補正計上で、これは、入院患者から御寄附いただいた使い切れなかったテレビカードの残金で、187ページ、説明欄に記載のとおり、病院事業基金に積み立てようとするものでございます。

184ページにお戻り願います。資本的収入でございますが、1款資本的収入6項1目寄附金に1万円の補正計上で、これは、先ほど説明いたしましたテレビカードの残金による寄附金でございます。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、議案第7号の質疑を終結します。

以上で付託議案の質疑を終結します。

次に、せんだって、議案第5号に対しま

して友永委員から修正案が提出されました。修正案については御配付のとおりです。

それでは、修正案に関し、提出者の説明を求めます。

○友永修委員

議案第5号令和5年度岸和田市一般会計補正予算（第8号）のうち、継続費補正は、庁舎建替事業として34億9910万6000円を増額するものである。これは、現基本計画に基づき施工事業者を選定するために行われたプロポーザルが、資材費や労務費の高騰、人手不足を理由に不調に終わったことを受け、提案上限金額を十分に確保する必要があるとの考えから補正計上されたものである。

令和5年第2回定例会において、議会は議案第50号令和5年度岸和田市一般会計補正予算（第3号）を修正可決している。これは、補正後の建設費が当初示された実質的な財政負担額の目安を超えており、オプション費用や物価高騰の影響を含めると、さらに財政負担が膨らむことが予想されるなどの理由からである。

しかしながら、今回の提案は、プロポーザルへの参加意欲を湧かせるために建設費の上限を引き上げるという安易な考えによるものであり、前回の修正可決を受けても市の考えは何ら改められていないため、到底理解し難く、認められるものではない。

また、市の考えが改められ、現基本計画を根本から見直さなければ、今後も物価高騰を理由に建設費が増え続けることが考えられる。

以上の理由から、議案第5号令和5年度岸和田市一般会計補正予算（第8号）について、別紙のとおり修正するよう求めるものである。

○南加代子委員長

説明が終わりました。

本修正案に対する質疑はありませんか。

○京西且哲委員

提出者の友永委員に、1点だけ質問というか聞きたいことがありますので、お願いします。

2月8日に我々議会に対して消防本部から、1月1日に発生した能登半島地震に向けて消防隊員が被災地に救援部隊として入られた。これを中心にして、我々議員全員が報告を受けました。現地での救援作業、支援作業も含めて、我々が聞かせていただいて、映像または動画を見せていただいて、話を聞きました。その上で、我々議員からも、まずは消防隊員の支援部隊に対する感謝と、引き続きその後も本市の職員が、一般職、技術職も含めて、その後、被災地へ入って支援されておることも十分理解しております。

そうした話の中で、私の受けた感じは、全議員が、今申し上げたように、本市の職員に対する感謝と敬意を感じて、その説明、報告を受けたものと私は感じております。もちろん、その中で、現地での死亡者、あるいは被災された方の多くが建物倒壊によつての圧迫死が一番多いという報告を、報道でもありますが、聞いております。

そういった中で、改めて提出者に対してその気持ちを聞きたいと思うんですが、我々は議会に庁舎建設特別委員会を設置しています。昨日もありました。これは、老朽化したこの危険な庁舎を建て替えて安全なものにするというのが目的で設置した特別委員会であります。その中で、昨日まで様々な議論を重ねてきたと私も思っておりますし、担当課については、いろんな調査をされた上で報告されたことであります。一定の質疑、議論ができてきたものかなと思っております。その上で、今回、補正予算、継続費の増額補正の提案がなされて、

今、提案者あるいは賛成者から、これを認めないという修正案が出されたということでもあります。

その点で1点だけ伺いいたします。この危険な建物とされておるものを一日も早く建て替えて、安全な庁舎にする。こういう本来の目的、一日も早く庁舎を建て替えて安全なものにしていく、この考え、この思いについて、提出者の友永委員は賛成されるのか反対されるのか、この点だけお聞かせください。

○友永修委員

一日も早く建て替えるべきだと考えております。それは、現基本計画を見直し、もう一度、一からやり直すことが、私及び公明党としては、それが一番早いとの思いから今回修正案を提出させていただいております。

○南加代子委員長

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

ないようですので、修正案の質疑を終結します。

暫時休憩します。

○南加代子委員長

休憩前に引き続き委員会を開きます。

討論、採決に入ります。

まず、議案第6号及び議案第7号の2件について、一括して討論、採決し、その後、議案第5号について討論、採決したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

それでは、そのようにさせていただきます。

まず、議案第6号及び議案第7号の2件について、討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

直ちに採決します。

議案第6号及び議案第7号の2件について、原案を可とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

御異議ないようですので、本各件は原案を可とすることに決しました。

次に、議案第5号及び修正案について討論に入ります。討論のある方は順次御発言願います。

○橘川亜紀委員

継続費補正の原案に賛成、修正案に反対の討論をさせていただきます。

庁舎建替事業については、現地1棟で建設するものとして令和4年度に岸和田市新庁舎整備基本計画改定版を策定し、それに基づき令和5年度当初予算が議決されたものであります。今回の継続費補正予算は、全国的な建設物価高騰に伴う事業費等の見直しのためであり、やむを得ない事情です。これは、これまでに我々が議決してきた他の同趣旨の補正と何ら変わるところがありません。

そうであるにもかかわらず、修正理由に

ある、現基本計画を根本から見直さなければ、今後も物価高騰を理由に建設費が増え続けるという内容は、現基本計画に明らかな瑕疵がないのに全面否定を求めているということであり、これは、これまでの議決にも反し、かつ、今後の執行部局の事業方法の選択肢をいたずらに狭めることにもなりかねず、庁舎建設事業の円滑な遂行を妨げる危険な内容と言わざるを得ません。

他方、庁舎建設特別委員会にも報告されたように、現計画を白紙に戻してやり直すことを強ければ、新庁舎の完成は10年以上遠のく可能性があります。現庁舎旧館及び新館は、耐震性が低く、地震時に倒壊または崩壊する危険性があるとの指摘を受けています。本来ならば、今すぐにもでも使用を中止し、ほかへ機能移転すべきところですが、その最速の移転が現計画の遂行であります。

1月1日の令和6年能登半島地震は最大震度7を記録し、その惨状は皆様もよく御存じのとおりですが、石川県の各市町では防災拠点となる庁舎は全て建て替えもしくは耐震化されておりましたので、庁舎が倒壊し機能不全となったとの情報はありません。一方で、2016年4月の熊本地震では、複数の市町村で庁舎が倒壊いたしました。庁舎が崩壊したことで、職員、財物、文書全てについて問題を抱えた中、災害対応を余儀なくされ、業務遂行に支障が生じたようであり、これが本市で現実になったらといった危惧をいたします。

今後30年以内の発生確率が70%から80%と非常に高い確率となっている南海トラフ巨大地震は、海溝型の地震であり、定期的な繰り返される地震であります。確率が高いということは、前回の発生から見てもうすぐ時期が来るということを意味しております。本市では5強から6弱の震度に見舞

われるとお聞きしております。新庁舎の建設に対して、ゆっくり検討している猶予はもうないと思っております。

これまでの議論を積み重ね、成案となっている現計画に基づき、早急に事業の着手に入るべきであります。このことは、職員の安全も確保し、もって市民の命と暮らしの安全を守るため、今議会で必ず可決すべき議案であることを我々市議会が重く受け止めなければなりません。

議員各位におかれまして、この討論の趣旨を御理解いただきまして、御賛同いただけますようよろしくお願い申し上げます。

○南加代子委員長

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

ないようですので、討論を終結します。

直ちに議案第5号及び修正案について採決します。

本件については、起立採決をもって行います。なお、着席の委員は本件に反対とみなします。

まず、修正案について採決します。

本件は修正案を可とすることに賛成の委員は御起立願います。

(賛成者起立)

起立多数です。よって、修正案を可とすることに決しました。

次に、議案第5号のうち、修正部分を除く原案について採決します。修正部分を除くその他の部分について、原案に賛成の委員は御起立願います。

(賛成者起立)

起立全員です。よって、議案第5号のうち、修正部分を除くその他の部分は原案を可とすることに決しました。

最後に、委員会の報告はいかがでしょうか。

〔「正副委員長に一任」の声あり〕

それでは、そのようにさせていただきます。

以上で予算常任委員会を閉会します。

(以 上)